

## 奄美大島へのヒメジョオン(キク科)の侵入

鈴木英治・山元 茜

### Invasion of *Erigeron annuus* (Asteraceae) into Amami Oshima Island

SUZUKI Eizi and YAMAMOTO Akane

鹿児島大学理学部地球環境科学科  
Faculty of Science, Kagoshima University

#### 要旨

北米からの外来種で日本各地に広く分布しているヒメジョオンについて、奄美大島における分布状況を2017年に調べ、鹿児島大学博物館の標本と文献記録から侵入の歴史を考察した。記録はないが状況証拠から1986年以後に奄美大島に侵入し、今では広範囲に分布するようになったと推測された。

#### はじめに

外来種の侵入は島嶼生態系にとって大きな問題だが、どのように侵入しているかはよくわかっていないことが多い。奄美大島にも多くの外来種が侵入しており、清水他(2001)によれば江戸時代末の1865年頃に日本に導入され現在は日本各地に広く分布するヒメジョオンも、奄美大島に分布することに2017年に著者は気づいたが、今まで発行された奄美群島の植物目録(初島1968, 堀田2013)や鹿児島大学の植物標本室(KAG)には記録がない。そこでヒメジョオンの分布状況を調べ、その侵入の歴史について考察した。

#### 方法

図1に示すルートに沿って2017年8月27日~30日に自動車で行き、道から見える範囲で、ヒメジョオンと比較のためにシロノセンダングサ、アメリカハマグルマを発見し、その地点をGPSで記録し、道沿いに広がっている長さを目測で記録した。また鹿児島大学標本庫の標本と文献により過去の分布記録を調べた。

#### 結果

表1に外来植物の3種の分布地点数と総延長を示す。シロノセンダングサが586カ所と最も頻度高く見られた。ヒメジョオンは66カ所で出現し、アメリカハマグルマは23カ所だけであった。ただし、1カ所で出現する長さはヒメジョオンで2.5m、シロノセンダングサは5.9m、アメリカハマグルマは6.5mであり、無性的に広がりやすいアメリカハマグルマは、出現頻度は低い、分布する場所には数多く存在した。

表 1. 3種の外来植物の出現地点と分布長

種名	分布地点数	分布総延長(m)	1地点の平均長(m)
アメリカハマグルマ	23	150	6.5
シロノセンダングサ	586	3452	5.9
ヒメジョオン	66	163	2.5

図 1 に、シロノセンダングサとヒメジョオンの分布地を示す。シロノセンダングサは、トンネルの通過している場所以外ほぼ満遍なく分布していた。ヒメジョオンも分布地点は少ないが、どこかに集中しているというより、全島の的に分布していた。

### 考察

ヒメジョオンは堀田(2013)の奄美群島植物目録に記載されていないので、2013 年以後に侵入したとも考えられる。しかし、地点数が少ないとはいえ全島の的に分布しており、最近数年で侵入したとは考えにくい。堀田(2013)の目録は、基本的に現地調査ではなく今までの収蔵品を整理したものである。ヒメジョオンは以前から侵入していたのに注目されずに、標本が作られなかったと考えるべきであろう。実際 KAG にもヒメジョオン標本は 16 点しかない。

1968年の初島による調査にもヒメジョオンの記録はない。しかし 74 種記載されているキク科種にはヒメジョオンと一緒に出現しやすい道端雑草的な種も数多く記録されている。初島(1968)は奄美自然公園予定地基本調査報告書であり、実際の現地調査に基づいているので、ヒメジョオンがあったとすればそれを見落としたとは考えにくい。鹿児島県立博物館の 1995 年発行の植物標本目録にも、鹿児島県の島嶼で採集されたヒメジョオンはない。

1986 年に奄美市在住の植物研究科である田畑満氏が採集したヒメジョオンに似たハルジオンの標本が KAG に保存されている。おそらく田畑氏がハルジオンを奄美で初めて見て、名前を同定してもらうために、鹿児島大学に送ったものと思われ、その頃にハルジオンが奄美大島に侵入したのであろう。奄美博物館にも同氏寄贈の 1985 年と 1991 年採集の標本が収められている。初島(1968)と堀田(2013)にはハルジオンも記録されていない。当時ヒメジョオンが存在したならば、同氏がハルジオンを採集しながらヒメジョオンを取らなかったとは考えにくく、1986 年以後にヒメジョオンは侵入したのではないだろうか。本種に限らず道端雑草的な普通種は注目されないので標本が少なく、いつ頃どこに侵入したのか調べるのが難しい。そのような植物の分布記録も残しておくことが大切であろう。

### 引用文献

- 初島住彦 (1968) 奄美群島の植物相. 鹿児島県 奄美群島自然公園予定地基本調査書 :53-131  
 堀田満 (2013) 奄美群島植物目録. 鹿児島大学総合研究博物館研究報告 6, 279pp.  
 清水矩宏・森田弘彦・廣田伸七 (2001) 日本帰化植物写真図鑑-plant invader 600 種-. 全国農村教育協会, 554pp.

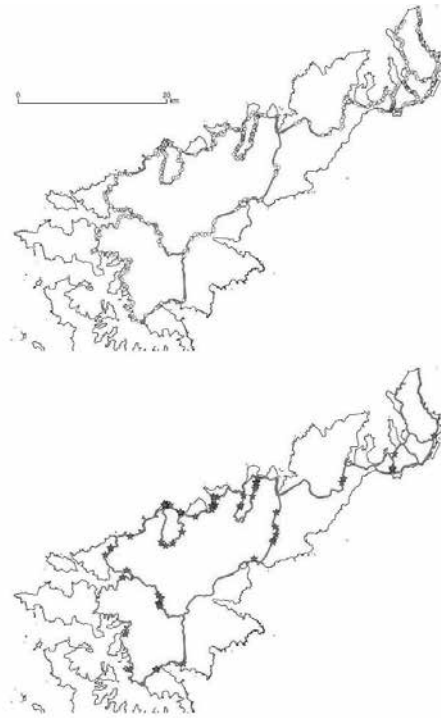


図 1. 奄美大島のシロノセンダングサ(上)とヒメジョオン (下) の分布地点。線は調査道路。